

2024「春号」

JAとよごろ広報誌

豊火

か が や せ

vol.222



山口良一さん 宇都宮賞(酪農経営の部)を受賞!!

1月15日、北海道酪農の振興・発展に貢献した生産者らを表彰する「第56回宇都宮賞」の発表があり、酪農経営の部で当JA組合長の山口良一さんが選ばれました。宇都宮賞は北海道酪農の振興・発展に貢献した生産者に与えられるもので、山口さんは購入飼料の価格高騰の中、外的要因の影響を受けにくい良質な自給飼料を基盤とした持続的な酪農経営の構築などが評価され、受賞に至りました。

3月1日、宇都宮仙太郎翁顕彰会主催の表彰式を札幌パークホテルにて、顕彰会の会員、評議員・役員、推薦団体等から100余名の出席のもと、盛大に開催。道内の酪農家にとって名誉である宇都宮賞は「北海道酪農の父」である宇都宮氏の功績をたたえ、1967年に設立しました。

山口さんは「道内の酪農家にとって名誉な賞をいただき、ありがたい限り。飼料を含む生産資材の高騰が続く厳しい状況下のため、今回の受賞を経営の中での無駄や経費等を改めて見直す機会としたい」と話しました。

公益財団法人 宇都宮仙太郎翁顕彰会 第56回 宇都宮賞表彰式



新 人 紹 介



あ べ た く み
阿 部 拓 巳

生年月日 平成13年9月6日
出身校 酪農学園大学
趣味 釣り、ゲーム、テニス、スキー
所属 農産部 農産課 農産販売係
抱負 長かった学生生活を終えて、これからは新社会人としてJA豊頃町で働かせていただくことになりました。分からないことだらけで不安な部分もありますが、1日でも早く皆さんのお役に立てるように頑張っていきますので、ビシバシと仕事を教えていただければと思います。これからよろしくお願いします！



ま す こ じ ょ う
増 子 丈

生年月日 平成13年11月13日
出身校 北海学園大学
趣味 ドライブ、野球観戦
所属 農産部 農産課 農産係
抱負 社会人1年目として、先輩方にはご迷惑をおかけするかと思いますが、少しでも早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるように努力していきたくと思います。精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

平和地区	礼作別地区	二里塚地区	統内地区	下農野牛地区	農野牛地区	二宮西地区	二宮中央地区	二宮東地区	長節・旅来地区	牛首別地区	茂岩南地区	幌岡地区	豊頃地区	十弗西地区	礼文内地区
米田圭一	津久井清美	松尾典俊	間所明暁	柚原則和	川原三奈	菖蒲勝幸	藤井裕也	鈴木教浩	井下清	松崎哲也	門晃嗣	高橋義男	花見孝	永原和也	高木寿一

令和6年度
農事組合長

「十勝和牛振興協議会 創立50周年記念式典」

1月25日、十勝和牛振興協議会は北海道ホテルにて「創立50周年記念式典」を開催し、豊頃町和牛改良生産組合より安藤誠さん、㈱武隈B F 代表取締役 武隈英和さん、篠島太郎さんが参加しました。

式典後は、公益社団法人全国和牛登録協会の穴田氏による「和牛の歴史とこれからの展望」と題し記念講演を行いました。十勝和牛振興協議会のこれまでの歩みを振り返り、2027年8月に十勝で開かれる全国和牛能力共進会に向け“牛づくり”“人づくり”を合言葉に決意を新たにしました。



生き甲斐部 新年会

生き甲斐部

1月11日、十勝川温泉ホテル大平原にて新年会を開催し、来賓・事務局合わせて総勢23名が参加しました。

皆さん温泉入浴を楽しんだ後、宴会をスタートし、皆で懇親を深めました。令和5年12月に実施した50周年記念旅行や近況報告等の話題、また、余興のビンゴ大会や二次会也大いに盛り上がりました。



令和5年度 第46回 豊頃町加工馬鈴薯生産組合通常総会

2月21日、令和5年度第46回豊頃町加工馬鈴薯生産組合通常総会を開催しました。議案第1号 令和5年度事業報告等に始まり、議案第3号 会費の徴収について、全3議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。

総会終了後はカルビーポテト®が栽培技術講習会を行いました。



令和5年度 第46回 豊頃町麦作振興会通常総会

2月27日、令和5年度第46回麦作振興会総会を開催しました。議案第1号 令和5年度事業報告等に始まり、議案第4号 役員改選について、全4議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。

総会終了後は十勝農業改良普及センターより令和5年度の振り返りと令和6年度に向けての講習を行いました。

役員改選の結果については下記の通りとなっています。

豊頃町麦作振興会

会 長	原	田	二次雄
副会長	堀	田	和 稔
副会長	木	幡	豊
理 事	高	木	寿 一
理 事	岡	光	隆 司
理 事	松	崎	直 弘
理 事	愛	澤	利 憲
理 事	植	村	有 見
理 事	太	田	知 文
監 事	山	本	孝 久
監 事	按	田	吉 久
監 事	米	田	圭 一



すみれ部会 スポーツ交流会新年会

女性部

1月10日、農協2階大会議室ですみれ部会（部会長愛澤悦子）のスポーツ交流会・新年会を行いました。

株式会社A O I L O（あおいろ）高橋氏を講師に招き、部員17名がモルックを体験しました。木でできたモルック棒を投げ12本の木製ピンを倒し、先に倒した数が50点になったチームが勝ちとなる簡単のようで頭を使うゲームです。4チームに分かれてリーグ戦としました。始めはなかなかピンを倒すことができませんでしたが、何回か行っているうちに点数の高いピンを狙って倒すというプロ顔負けの投球をする人も出てきて大変盛り上がりしました。約2時間モルックを体験し、昼食を食べながら新年会を行いました。



すみれ部会 部会集会並びに講座

2月6日、すみれ部会集会並びに講座を行いました。始めに佐藤ゆかり氏を講師に招き終活講座を受講しました。今後自分たちはどのようにしたら残された家族に迷惑をかけないのかと考えさせられる講座になりました。

午後から部会集会を行い無事承認を得ることができました。



ミセス部会 部会集会並びに講座

2月6日、ミセス部会集会並びに講座を行いました。午前に部会集会を行い、無事承認を得ることができました。

午後よりすみれ部会と同じ講師の佐藤ゆかり氏を招き終活講座を受講しました。ミセス部会は、どのようにしたら親と一緒に準備してくれるのかをテーマに色々と質問が飛びかい佐藤氏のわかりやすい回答で何かヒントを得たのではないかと思います。



フレッシュミズ部会 部会集会&新年会

2月7日、フレッシュミズ部会集会を12名の参加で行いました。

部会集会終了後少し遅めの新年会を帯広のインザスイートに場所を移動してパスタランチを堪能しました。部員が少なくなっているのもみんなで楽しい活動がしたいねと和気あいあいと談笑しました。



女性部 3 部会合同交流会

1月30日総合体育館にて、女性部三部会合同交流会を行いました。すみれ部会・ミセス部会・フレッシュミズ部会と3つの部会が一同に集まり交流をするという2年に一度の開催です。

今年度は、ヤンマーアグリジャパン㈱からアグリガールズの女性講師4名を招きドローン操作と座学を学びました。ドローン操作は、撮影用で少し小さいドローンでした。なかなか操作が思うようにいき



ませんでした。一度コツを掴むと皆さん上手にドローンを飛ばしていました。あんなに楽しそうと、興味を持つ部員もいました。

座学は、農作業事故とGPSについてです。スライドを使用しながらわかりやすく説明をしていただきました。

今回の参加者は25名と多数の方の参加で大いに盛り上がりました。

豊頃町女性部 3 団体交流会



ラシで磨くスweepが難しくなかなか上手にできませんでした。ストーンを投げる姿はプロ顔負けでナイススローの連続でした。

カーリング終了後、場所を木野の【海鮮・蔵】に移動しランチタイム。みんなでカーリングのはなしをしながら楽しく交流を深めました。

2月18日、豊頃町農協・漁協・商工会の女性部との交流会が行われました。担い手協議会が中心となり、当JAから13名（子供1名）が参加し総勢25名でカーリングを行いました。

6班に分かれ、ジュニアカーリングチームのジュエリーアイス（高校生チーム）から競技の説明と投げ方を教わり、ミニゲームを行いました。氷面をブ



定期総会

3月7日、農協本所大会議室において第69回JA豊頃町女性部定期総会を開催しました。役員8名に代議員32名、来賓5名が出席しました。

佐藤嘉香部長は冒頭「新型コロナウイルス感染が5類に移行したことで、各分会、各地区が通常通り行事を行う事ができた1年でした。部員のみなさまには女性部活動に協力、理解いただき心より感謝しています。」と述べ、按田町長・山口組合長より祝辞をいただきました。

議長には、茂岩地区の松崎幸子さん・二宮地区の佐々木日香里さんを選出し議事に入りました。

令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を賛成多数で可決しました。

令和6年度の役員体制は以下の通りです。

新役員体制

部長	佐藤	嘉香	再
副部長	佐竹	由香利	再
副部長	鈴木	恭子	再
監事	桐山	明子	再
監事	熊野	八重子	再

すみれ分会

分会長	愛澤	悦子	再
副分会長	宝田	幸子	再

ミセス分会

分会長	木幡	恵里香	再
副分会長	山本	裕香	再

フレッシュミズ分会

分会長	根本	留美	新
副分会長	遠藤	梨紗	新



青年部道外研修へ！



2月13日から16日にかけて、道外研修を実施しました。畑作副部会長の斉藤京介さんを団長に、片山光さん、伊井田拓実さんの3名が、千葉県農林総合研究センター、千葉市地方卸売市場を視察研修しました。1日目の農林総合研究センターではイチゴ、トマトなどの施設野菜を中心とした視察研修を行い、2日目の地方卸売市場では千葉県の様々な農産物を見学し、場内の海鮮丼に舌鼓をうちました。

研修道中ではレンタカーが整備不良で故障したり、帰りの飛行機が雪の影響で運行せず1日遅れでの帰宅になってしまったなど、トラブルが続き大変でしたが、無事に16日のお昼頃に帰着しました。



冬期講習会及びスポーツ交流会を開催

1月29日、青年部冬期講習会・スポーツ交流会を開催しました。

今回の講習会は「GPSの使用等」と題し、株式会社ヤンマーアグリジャパンより小川原氏、木原氏を講師に招き、GPSの使用法、基本情報等、スマート農業についての講習となりました。今後役に立つ講習になり部員一同熱心に聞いている様子でした。

講習会後は豊頃町総合体育館にてフロアカーリングを開催しました。4人一組でチーム戦を行い、未経験ながらも各チーム景品を目指して白熱したゲームを展開しました。

その後、帯広市内の団欒にて懇親会とビンゴ大会を行い、部員同士の絆を深め大いに盛り上がりました。



定期総会

3月6日、農協本所大会議室において第55回JA豊頃町青年部定期総会を開催しました。

鈴木部長の開会挨拶につづき、按田町長、山口組合長、川口専務、十勝農業改良普及センター 笹村支所長、十勝地区農青協議会 平副会長より祝辞を賜りました。

議長に統内地区より斉藤京介さんを選出し議事に移り、令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度部費の賦課方法、事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を賛成多数で可決しました。

鈴木部長は冒頭「新型コロナウイルスが5類相当に変更され、コロナ禍以前と同様の活動ができ、研修事業等を通じて多くの事を学び、盟友との交流を深めることができた。青年部活動に協力してくれた皆様に感謝しています。」と述べました。

令和6年度の役員体制は以下の通りです。

新役員体制

部 長	川 口 知 紘	(前書記長)
副 部 長	村 上 剛 丸	(前畑作部会長)
書 記 長	井 下 慎 吾	(前畜産部会長)
畜産部会長	加 島 知 典	(新任)
畑作部会長	斉 藤 京 介	(新任)
監 事	鈴 木 雄 大	(前部長)
監 事	武 内 創	(前副部長)



農 畜 産 物 取 扱 実 績

小 麦

	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	前年対比
作付面積	ha	1,248	1,268	102%
粗原重量	トン	6,520	8,745	134%
粗原単収	俵	8.71	11.49	132%
製品重量	トン	5,880	8,345	142%
製品単収	俵	7.85	10.97	140%

馬 鈴 薯

	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	前年対比
＜澱原用＞				
受入重量	トン	11,825	13,265	112%
平均ライマン	%	19.1	18.2	95%
＜種 子＞				
受入数量	俵	32,909	36,417	111%
＜食 用＞				
受入数量	トン	11	49	445%
＜加工用＞				
受入数量	トン	13,909	18,459	133%

甜 菜

	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	前年対比
作付面積	ha	518	415	80%
受入重量	トン	28,236	27,032	96%
平均糖分	%	15.3	12.5	82%

豆 類

	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	前年対比
一般大豆	俵	16,369	21,925	134%
光黒大豆	俵	610	185	30%
普通小豆	俵	24,814	23,902	96%
金 時	俵	3,555	2,947	83%
手 亡	俵	7,559	6,226	82%

牛 乳

（期間 3月～2月）

	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	前年対比
出荷乳量	トン	73,118	69,824	95%

酪農王国十勝 「みんなでモ～1杯」動画



十勝全体動画



JA 豊頃町



豊頃町役場

乳製品の消費が落ち込む中、消費拡大の一環として昨年の11月15日に撮影をしたJA 豊頃町Ver.の動画が完成しました。

十勝地域は「酪農」が基幹産業の一つであり、酪農王国です。十勝地域全体で一つの取組を行うことで、より一層の働きかけにつながるという思いから関係機関がそれぞれに撮影した「みんなでモ～1杯」の様子を動画にまとめました。みなさんも各機関の様々な「モ～1杯」を視聴し、牛乳・乳製品を飲みませんか？ 各機関の「モ～1杯」動画は以下のQRコードからご覧ください。（北海道農政事務所）

役員研修

1日目は九州福岡県糸島市にありますＪＡ糸島が事業展開する産地直売市場「伊都菜彩」の視察を行いました。ＪＡ糸島は農畜産物取扱高が103億円、正組合員数5,312名と九州では非常に大きなＪＡで、対馬暖流の影響により夏・冬ともに気温が和らぐ温暖な気象条件から、野菜・果樹・花きなど園芸作物に適した地域で多種多様な農産物の生産が行われています。

その「伊都菜彩」は1,500名を超える生産者の登録がされており、地場産の各種野菜類やいちごなどのフルーツ、これら農産物を原料とした加工品も数多く、さらには鮮魚類も取り扱う地域の台所といった感じの強い直売市場となっています。店舗規模としてはＪＡめまろの「愛菜屋」よりやや大きいイメージです。今回は視察時間が夕方だったこともあり商品は限られていましたが、観光客だけでなく主婦層も目立つ雰囲気、常に一定以上のお客様がいらっしゃる印象でした。地域やＪＡの作付構成も異なることから一概に比較はできませんが、六次産業の重要性について感じる事ができた視察となりました。

2日目はＴＯＭＡＴＥ Ｃ（株）研究開発農場の視察研修を行いました。ＴＯＭＡＴＥ Ｃ（株）は東洋製罐グループホールディングス（株）という、主に金属、プラスチック、紙、ガラス等素材を活かした包装容器を製造している企業のグループ会社で、その中でもガラスコーティングや車のダッシュボードの顔料などの製造を主とした事業を行っており、また肥料の製造研究を行っている会社です。今回の視察先である研究開発農場は大分県別府市にあり、微量要素肥料に特化した国内唯一の研究農場です。

ＴＯＭＡＴＥ Ｃ（株）は代表的な肥料としてＦＴＥがあります。大根を作付したところのある方にはなじみが深い肥料かと思いますが、野菜用やてん菜用複合肥料の原料に多く使用されています。この研究農場では43年同一圃場にＦＴＥを連用することで作物への効果や重要性、安全性を実証しています。試験圃場も約3m×3mの区画が66区画あり、各地域の代表的な土壌を使用して研究を行っております。区画の中には帯広市から搬入された土壌もあり、現在は土壌病害虫の蔓延防止策から土の移動制限があることを考えますと貴重な研究施設となっております。

さて、私たちが普段行う施肥設計は主に多量要素（窒素・リン酸・加里・石灰・苦土等）を中心に設計し、微量要素については見落としがちになりますが、今回の視察では微量要素（マンガン・ホウ素・鉄・亜鉛・銅等）の重要性と、欠乏・過剰による害についての視察研修となりました。改めて微量要素の過剰・欠乏症状が収量に影響すること、また病害と似ている症状であることを再確認することができ、生育中の病害判断の一助として今回の内容が多くの方にさらに広まれば各作物の収量増につながるのではないかと感じました。

3日目は、株式会社日本リモナイトの視察研修を行いました。安蘇山の麓にある会社でリモナイトの製品の製造、研究の会社です。リモナイトとは、火山活動で生み出された物質で、火山灰のような見た目ですが主成分は鉄分で、さまざまなガスや有害物質を吸着する特性を持っており、農業関係では飼料や土壌改良剤として使われています。飼料として牛に給与するとお腹のガスや有害物質を吸着し軟便や下痢の緩和、鉄ミネラルの補給が出来ます。また臭いの軽減、良質な堆肥も期待できるそうです。会社のすぐ隣の牧場も見学させて貰いましたが、リモナイトを給与している効果か、牛の毛づやも良く臭いも気にならず、堆肥舎の堆肥も乾いて臭いも全く無く驚きました。飼料は、ミネラソと言う商品名で農協で取り扱いしています。（理事：吉田 孝／購買課長：江森大策）



防犯訓練を実施

2月20日、防犯訓練としてサイバー犯罪及び特殊詐欺等に関するセミナーを農協2階研修講義室にて行い、職員12名が参加しました。講師に北海道警察釧路方面池田警察署より大場さん、森川さんを招き、サイバー空間における脅威としてランサムウェアの実態とサイバー攻撃情勢、近年増加しつつある爆発物製造事案や特殊詐欺被害、薬物乱用の防止について学びました。

近年、Instagram、フェイスブック、XなどSNSの投資に関する広告をクリックすることで、突然招待されるなどの方法により、投資に関



するLINEのグループトークに参加し、投資と称してお金をだまし取られる被害が急増しております。不審なアカウントに出会った場合はLINEへの通報と必要に応じてメッセージの受信拒否設定を行うなど対策を講じましょう。



異業種交流会を開催!

3月16日、とよころ担い手サポート協議会主催で町内の異なる業種の方が集い、お互いの業種を理解することを目的として昨年に引き続き十勝ロイヤルホテルにて開催しました。総勢40名程度が参加し、普段交流のない人たちとたくさん親睦を深めました。

二次会はとり良にて行い、30名程度が参加しました。一次会よりもさらに親睦を深め、とても有意義な時間を過ごしました。

皆さんとても満足した様子で、「このような交流会で親睦を深め、今後の豊頃町を盛り上げていくことが大切」「いろいろな人と交流ができてよかった」などの声があり、今後も継続した開催を期待したいです。



編集後記...

少しずつ暖かくなり、春らしくなってきました。

4月から新入職員が入り、初々しさを感じるとともに自分自身も初心にかえり、気を引き締めなおして1年頑張れたらと思います。

組合員の皆様におかれましては、何かと忙しくなる季節かと思いますが引き続き農作業事故防止に努めていただきたくお願い申し上げます。

企画係 T.M